



スマートフォンなどを使えば、  
表紙に関連する動画が見られます!

- 1.裏表紙のQRコードを読み取る
- 2.「まるごと四日市」サイト内の広報紙のメニューを起動
- 3.「広報よっかいち」ロゴにスマートフォンなどをかざす

※利用には無料アプリ「junaio」のインストールが必要です

特集

市長、新春に語る



## 特集/市長、新春に語る

平成26年の新春を迎えました。  
 今年は総合計画の第2次推進計画※が始まる年となり、総合計画の目指すべき都市像「みんなが誇りを持てるまち四日市」の実現に向けて、市政各分野の重点施策をさらに進めていきます。  
 そこで、田中俊行市長に今年の市政を振り返りながら、今後の市政への思いを熱く語っていただきました。



語り手 田中 俊行市長  
 聞き手 市民リポーター 谷口 舞さん

※10年計画の総合計画に基づき、具体的な実施事業として、おおよそ3年ごとに推進計画を立てています。現在は、平成23年度から平成25年度までを計画期間とする第1次推進計画を実施中ですが、平成26年度から平成28年度までの3年間を期間とする第2次推進計画がスタートします



# 「みんなが誇りを持てるまち 第2次推進計画でさらなる前進を

### 産業活性化戦略会議の議論を生かし、産業活力を高めていきます

谷口 市長、あけましておめでとうございます。  
 市長 あけましておめでとうございます。  
 谷口 新しい年が始まりましたね。今日は気持ちを新たにお話いただければと思います。よろしくお願いいたします。



第2回産業活性化戦略会議(平成25年7月)

まず、四日市の産業についてお伺いしたいのですが。  
 市長 はい。本市は、高速道路などの道路網が整備され、国際貿易港である四日市港を擁するとともに、中部国際空港も近いという優位性を持っています。  
 こうした立地条件の中で、臨海部の石油化学コンビナートだけでなく、内陸部の半導体・自動車・電機・機械・食品など、実に多様な産業が集積しています。  
 ですから、この強みを生かして、より産業活力を高めていくことが、行政の役割だと思っています。  
 そこで、昨年3月に「産業活性化戦略会議」という組織を立ち上げました。ものづくり産業に限らず、商業・サービス業の再生、さらには次世代産業の誘発なども視野に入れて、現在、効果的な産業振興戦略を練っているところです。  
 その戦略をふまえて、本市が21世紀の産業都市モデルとなるよう、新年度から具体的な政策として実行していきたいと考えています。

# 「四日市」の実現に向けて

### まちの発展には文化力も必要 継続して文化振興にも力を入れます

谷口 では、続いて文化についてはいかがですか？  
 市長 本市が魅力あるまちとして発展していくためには、産業の活力だけではなく、文化の持つ大きなパワー、つまり文化力がどうしても必要です。  
 そこで、私は、市長に就任して以来、文化振興に特に

力を入れてきました。平成24年を「四日市の文化力元年」と宣言し、「全国ファミリー音楽コンクール」や「郷土が誇る芸能大会」などの事業も、その一環としてスタートしました。  
 「継続は力なり」と言いますから、今年も、よりパワーアップして開催し、本市の文化力を磨きあげながら、全国に発信していきたいと考えています。  
 谷口 どのイベントも続けていきたいですね。



第2回全国ファミリー音楽コンクール(平成25年10月)



1月18日に開催される「郷土が誇る芸能大会」は3回目を迎えます

## 「災害に強い、安全・安心なまちづくり」を着実に進めています

**谷口** さて、続いて防災です。大規模災害などの備えについてはいかがですか？

**市長** 最近、巨大地震や津波に加えて、大型台風や局地的豪雨、竜巻など、自然災害の怖さを実感することが多いですね。ですから、あらゆる災害に備えて、防災予算も大幅に増やしていますし、きめ細かな防災・減災対策を進めています。

例えば、津波避難ビルに指定している小・中学校の校舎の屋上を避難場所として活用するために、屋外階段と屋上の手すりを設置したり、自家発電装置を屋上に移したりしています。

もう一つ事例をあげるなら、災害時緊急告知ラジオの導入ですね。このラジオを持っていると、災害の時に、自動的に電源が入って、最大音量で情報をキャッチすることができます。

災害時要援護者として登録されている高齢者や障害のある方、また、避難の手助けを行っていただく自治会長や地域の防災組織などに、3月中旬から無償でお貸ししていきます。

このような効果的な取り組みを早急に実施して、「災害に強い、安全・安心なまちづくり」を着実に進めています。

## 内部・八王子線の存続 乗って残そう公共交通

**谷口** 昨年は、近鉄内部・八王子線の存続について話題となりましたが、どうなりましたか？

**市長** 約2年前に、近鉄さんから、赤字が続いているので廃線も考えているとの話がありました。

しかし、内部・八王子線は、高校生や高齢者を中心に年間360万人が利用する、市民にとってかけがえのない公共交通です。そこで、17万人を超える存続を求める署名など、強い要望も受けて、近鉄さんと1年半もの長い交渉を続けてきました。

その結果、昨年の9月に「公有民営方式」、つまり施設を市が保有し、近鉄さんと市が設立する新会社が運行を行う形で、鉄道として存続させることに合意しました。

厳しい交渉の中で、一時は廃線もやむなしかと諦めかけたこともありますが、粘り強く交渉を続けた結果、近鉄さんに相当な譲歩をしていただき、合意が成立しました。

今後は、さまざまな手続きを進めていくこととなりますが、利用促進のための新たな取り組みも必要になっ

てきます。

市民の皆さんには、「乗って残そう」のスローガンのもと、大いに内部・八王子線を利用していただきたいと願っています。ぜひ、よろしくお願いします。



内部・八王子線

## 「(仮称)四日市公害と環境未来館」の整備

**谷口** 分かりました。私もできるだけ公共交通機関を利用したいと思います。続いて、環境に関してはいかがですか？

**市長** 環境と言えば、昨年、中国のPM2.5問題が大きな話題になりましたが、昨年4月に北京で開催された「日中大気汚染セミナー」では、環境省からの要請により、本市職員が講演を行いました。これは本市の環境改善の取り組みが高く評価されている表れです。

四日市公害は、多くの犠牲を払うことになりましたが、市民・企業・行政の懸命な努力により、大きく環境改善を果たしました。しかし、四日市公害から50年を経た現在、当時の様子を知る人は少なくなっています。

そこで、四日市公害の歴史と教訓を風化させることなく次世代に伝え、同時に、蓄積されてきた環境技術を生かしながら、環境先進都市を目指す四日市の姿を広く発信していくため、「(仮称)四日市公害と環境未来館」を博物館に併設する形で整備します。今年、いよいよ着工し、平成26年度中の開館を予定しています。

その際、開館20年を経て、設備が老朽化している博物館・プラネタリウムも連携させて、一体的にリニューアルすることによって、経費も削減しながら、相乗効果のある、本市ならではの魅力ある情報発信施設にしていきたいと思っています。必ず、より多くの方に来館していただけるものと期待しています。

もちろん、自然環境の保全や環境に優しい太陽光発電などの新エネルギーの導入促進にも、しっかり力を入れていきます。



トッキーの  
ワンポイント情報

### 小・中学校の屋上を避難場所に活用

避難場所としての機能の充実を図るため、屋外階段や屋上手すりの設置のほか、自家発電設備の屋上への設置を進めています。

既に、沿岸部の小・中学校(富洲原小・中学校、塩浜小・中学校、楠小・中学校の6校)は整備を終え、平成26年度中には、津波避難ビルに指定している小・中学校(全18校)の整備が完了する予定です。



津波避難ビルの表示ラベル



屋外階段



トッキーの  
ワンポイント情報

2

### 乗って残そう公共交通

内部・八王子線以外の公共交通機関においても、利用者の減少により、維持することが厳しくなっています。

公共交通機関は通勤・通学の目的だけでなく、子どもたちや車を運転できない高齢者、障害のある人など交通弱者といわれる人たちにとっても、日々の生活に不可欠です。人口減少・高齢社会が進む中、その役割は益々重要となってきます。日頃、あまり公共交通を使わない人も、「時には電車やバスを使ってみよう」という意識に立ち、まず公共交通機関を利用してみてください。そして、次の世代に、公共交通を引き継いでいきましょう。

## 「こども未来部」を設置して 子育て支援策を充実

**谷口** 私たちの世代としては、やはり子育てや子どもの教育が気になるのですが、子育てや教育についてはいかがでしょうか？

**市長** 子どもは社会の宝ですし、国や地域の将来を担う人材の育成が重要なのは言うまでもありません。

まず、子育て支援については、昨年4月に市の組織を改正し、「こども未来部」を設置しました。

健康部・福祉部・教育委員会の3部局に分かれていた子育てに関する業務を集約することによって、「こども未来部」だけで、子育てに関する相談や手続きができる体制にしました。

途切れのない、体系的な子育て支援施策を実施することで、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めたいと考えています。



子育てに関する窓口を総合会館3階の「こども未来部」に集約しました  
(写真は、こども未来部のこども未来課窓口)



トッキーの  
ワンポイント情報 **3**

市外から転入を  
検討している人に  
ぜひ、ご紹介ください!

### 郊外住宅団地(モデル団地)への子育て世帯の 住み替え支援事業を行っています。

この事業に関する問い合わせ先  
[都市計画課]

☎059-354-8194 FAX 059-354-8404

HP <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu79234.html>

## 市外から転入する子育て世帯を支援

**市長** もう一つ、子育て支援や人口減少・少子化対策、さらに団地再生を目的として、「郊外住宅団地(モデル団地)への子育て世帯の住み替え支援事業」を、昨年4月から行っています。

この事業は、市外に住む子育て世帯が、市内のモデル団地(11団地)の一戸建て中古住宅に住み替える際に、購入の場合はリフォーム費用を、賃貸の場合には家賃を補助するという制度です。既にこの制度をご利用いただき、本市に移り住んだ方もいらっしゃいます。

この事業では、子育て世代の支援や人口減少・少子化対策だけでなく、古い住宅団地が、子どもたちのにぎやかな声が響く団地として再生することや、空き家の解消にもつながることを期待しています。

## JAXAと連携した教育施策を実施

**谷口** 子どもに関することが、こども未来部にまとめられたのは助かります。教育についてはいかがですか？

**市長** 教育面の特徴ある施策としては、子どもの理科離れを防ぐために、市内の企業や宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力の下に、「四日市こども科学セミナー」を開催しています。

また、JAXAと連携協定を結びましたので、昨年は、JAXAの講師による専門性を生かした授業を小・中学校6校

#### 〈事業を活用した人の声〉

我が家に子どもが生まれ、親の近くに転居を考えているときに、この制度を知って借家住まいを始めました。

家族が増えて手狭になってきたアパート住まいから、庭もある一戸建てに住むことができ、子どもものびのびと育っています。静かな環境ですし、駅も近いので夫の通勤にも便利です。近所の人たちも、子どもに優しく話し掛けてくれます。親の家からも近くなり、新米パパママの私たちにとっては、子育てするのにとても助かっています。



昨年8月、宇宙飛行士の古川聡さんが  
「四日市こども科学セミナー」講演のため来訪

で実施しました。平成26年度は実施校を増やし、さらに内容を充実させて、取り組みを広げていきます。

こうした取り組みによって、科学技術や宇宙に対する子どもたちの夢や希望が広がって、日本の科学技術を支える優秀な人材が四日市から育っていけばうれしいですね。

**谷口** 聞いているだけで、私もワクワクしてきます。

## 保健・医療・福祉の一体化 市立四日市病院のリニューアル

**谷口** 健康や福祉についてはいかがですか？

**市長** この分野についても、保健・医療・福祉の一体化した総合行政を行う目的で、健康部と福祉部を統合して

「健康福祉部」を設置しました。

この「健康福祉部」を核として、地域医療と地域福祉の連携強化、充実を図っていききたいと思います。

一方、市立四日市病院の病棟増築、既設改修工事がほぼ終了し、昨年12月に全面供用を開始しました。これにより、医療機能の高度化や療養環境の改善が図られました。(市立四日市病院については8ページで紹介しています)

## 消防と病院が連携 「救急ワークステーション」

**市長** ほかに、消防と市立四日市病院とが連携した「救急ワークステーション」が、今年4月から本格稼働する予定です。

これは、消防本部の救急隊員が救急車で市立四日市病院に出向き、医療的な処置技術の研修を受けながら医師や看護師と顔の見える関係を築く、そして、救急出動の要請があれば、すぐに病院から出動するといった取り組みで、患者さんの救命率の向上が期待されます。

**谷口** 分かりました。着々と誇りを持ってまち四日市が実現していきそうですね。市長ありがとうございます。今年も頑張ってください。

**市長** はい、全力で頑張ります!



トッキーの  
ワンポイント情報 **4**

### 「君たちが月探査を」JAXAの講師が授業

授業は、「月」をテーマに行われました。月を周回する衛星「かぐや」のロケット打ち上げシーンの映像に、「すごい!」「かっこいい!」と歓声が上がりました。

子どもたちは、「かぐや」による画像やデータをもとに、月の最新の姿や月の起源について学習しました。そして、宇宙ステーションで活躍するJAXA宇宙飛行士の様子や、「2030年以降の有人の月探査には、君たちが宇宙飛行士として…」という講師の言葉に目を輝かせていました。



児童に語りかけるJAXAの講師 (平成25年11月21日 常磐小学校)

市立四日市病院は、築後30年を経過し、建物や施設の老朽化への対応と療養環境の改善のため、平成22年4月から病棟増築・既設改修工事を行ってきました。救命救急センター（ER）の増築、外来診察室の改修および手術室などを備えた新病棟の増築工事を行い、その後、既設病棟の全面改修工事を行いました。昨年12月末には、病棟の改修を終え、療養環境が大幅に改善されました。

## 救命救急センターの機能強化と外来診療環境の改善

救命救急センターの増築を行い、MRI室、処置室などを増設し、救命救急センターの機能の強化・充実を図りました。

外来についても、診察室を増室したほか、中待ち合いを解消してプライバシーを確保するとともに、エレベーター1基を増設するなど、診療環境が改善されました。

## 最新設備を整えた新病棟

平成24年5月に供用を開始した新病棟は、地震災害時などにも重要な病院機能が維持できる免震構造の建築物です。病室（4人床および個室）のほか、東海地区初のハイブリッド手術室※①（1室）を含む手術室（12室）や、新生児集中治療室（NICU※②）や母体・胎児集中治療室（MFICU※③）などを備えた周産期母子医療センターを整備するとともに、最新設備を整えたMRI室、中央材料室および厨房なども配置しています。

※①カテーテル手術などの内科的手術と、開腹手術などの外科手術の機能を併せ持つ手術室で、緊急時への対応が迅速に行えるため、救命率の向上につながる

※②早産児、低出生体重児、または何らかの疾患のある新生児を集中的に治療、管理する治療室

※③重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、出産の危険度が高い母体、胎児に対応するための設備と医療体制を備えた治療室



東海地区初のハイブリッド手術室



新生児集中治療室（NICU）

## 既設病棟も療養環境を改善

昨年12月に既設病棟の全面改修も終え、新病棟と同様の療養環境を提供しています。新病棟と既設病棟を合わせた、病院全体の病床数（568床）はそのままで、既存の6人床病室の4人床化や個室の増床、トイレなどの設備の更新などを行いました。



4人床化した病室

4年間にわたり、工事期間中は、入院患者や来院者の皆さんには、大変ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協力により病棟改修および移動を終えることができました。ありがとうございました。

# 自分たちのまちは 自分たちで守る



本市では、市民が主体となった自主防犯活動団体の継続的なパトロール活動を基本として、警察などと協力しながら、創意工夫をして安全・安心なまちづくりを進めています。地域の防犯活動のさらなる普及を図るため、地域防犯活動啓発普及事業を通し、地域での自主防犯活動団体の立ち上げ支援を行っています。これから防犯活動を始めようとしている、または活動のレベルアップを希望する自主防犯活動団体を、現在、募集しています。



## 地域防犯活動啓発普及事業

この事業は、市内の自主防犯活動団体で組織している「四日市市地域防犯協議会」が企画運営を行い、所属団体の会員自らが講師なども務め、自主防犯活動の進め方や実施指導を行うなど、自主防犯活動団体の立ち上げ支援を行うものです。

### 主な支援内容

#### ● 防犯活動講習会の開催

防犯活動のノウハウを、先駆的な団体の取り組みを交えて紹介し、住民の理解と参加を啓発します。

#### ● パトロール体験会の実施

本市が発祥で全国に広がった青色回転灯搭載車によるパトロール(通称:青パト)の紹介や、実際に歩いてパトロールを実施し、現場で注意する点などを解説します。



防犯活動講習会



四日市市地域防犯協議会 副会長  
富田地区地域安全すみれ会 会長  
やまざき ゆきえ  
山崎 幸枝さん

「地域安全すみれ会」は、女性だけの自主防犯活動団体で、平成8年に立ち上げました。各種団体などに所属する幅広い年代の約450人の女性たちが、日々活動しています。

会員みんなが、日ごろから防犯意識を持ち、買い物などで外出した時に、団体のバッジをつけてパトロールも行うなど、日常生活の一部として無理なく活動しています。その中で気付いた点や要望などがあれば報告してもらい、会報などを通じて会員同士で情報共有をするとともに、必要に応じて警察などの関係機関にも連絡しています。

日ごろからの防犯活動が、地域住民の絆づくりにつながり、住民の生の声を聴けるようになったと思います。

また、私たちの団体は「四日市市地域防犯協議会」に所属しています。この協議会では、各地域で防犯活動を行っている27団体、警察、行政が、防犯活動に関する情報交換を行っているので、自分たちの防犯活動の参考になります。防犯活動は、行政と市民が一緒に取り組むことでさらに効果が上がると思います。

## 「チャイルドビジョン(幼児視界体験メガネ)」をご存じですか?

子どもは、目の高さが大人よりもかなり低いいため、視野がとても狭くなっています。車などで視界がさえぎられて交通事故になるケースが子どもに多いのは、目の高さの違いが原因と考えられています。

「チャイルドビジョン」(写真)により、大人が子どもの視野を体験することができるので、子どもの視野は死角が多く危険性が高いことを理解し、大人自らが子どもを守る必要性を感じることができます。

本市でも、「チャイルドビジョン」を活用し、安全・安心なまちづくりを進めています。

※「チャイルドビジョン」は、市ホームページ([HP](http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu82535.html) <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu82535.html>)からダウンロードして組み立てることができます





老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。  
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。  
放送日時：1月11日～2月10日 6：40・20：30  
(土・日曜日は6：40を9：00に変更)



こばやし なぎさ  
小林 渚さん

遊びながら、仕事や社会の仕組みを体験できる子どもたちのためのイベント「こども四日市」。昨年11月に第10回目を迎えたこのイベントの現場責任者として活躍する小林渚さんにお話を聞きました。

### ○始まりは、「子どもの絵画造形教室」から

以前に勤めていた子どもの本専門店で、「子どもの絵画造形教室」の講師をしていたことをきっかけに、子どもたちに絵を描くことや物を作ることなど、表現の楽しさを教えるようになりました。もともとアートと子どもが好きだったので、これが自分の仕事だと思いました。

現在は、すわ公園交流館の事業である「こども四日市」を主催する「こども四日市プロジェクト」に参加しながら、自身の仕事としては、子どもたち向けに、遊びや体験を通して表現を楽しむ教室をしています。

### ○子どもが決めて、工夫しながら形にしていって、それが新しい「こども四日市」

平成22年から、「こども四日市」の現場責任者をしています。前任者から引き継ぐ時に、「新しい形に変えていってくれ」と言われました。そこで、さまざまな試行錯誤を経て、今年度から「より子どもが活躍できる」形に変えました。従来は、子どもの意見を聞きながら、準備は大人がしていました。その準備から子どもたちが行い、大人はアドバイスをする形に変えました。

子どもたちは、自分で準備をしたからこそ、なんとか成功させたいと考えます。準備の中で壁にぶつかりますが、その度にアイデアを出し、アドバイスを聞き、それがお互いを認め合うことにつながっていきます。「こども四日市」が、それぞれの良さを発見できる場になればいいなと思います。



「こども四日市」の市長選挙が行われました(黄色の帽子をかぶっているのが当選した市長です)

### ○まちとつながる 諏訪栄商店街とのコラボレーション

こども四日市プロジェクトでは、大人のまちの秘密を探る活動として、月1回「こども四日市探検隊」を開催しています。昨年は、諏訪栄商店街にある5つの店の紹介映像を作り、文化の諏訪駅で上映会を行いました。大変好評で、商店街の宣伝にもなり、良かったと思います。

また、自身の教室の小学生クラスでは、グリーンモールにあるいくつかのお店を取材し、その感想を書いた人型のお店看板を、それぞれのお店に置いてもらいました。お店の人にも喜んでもらったので、とても嬉しかったです。



看板の成形も自分たちで。完成した看板をグリーンモールで探してみてくださいね



### ○子どもたちの場づくりをしたい

子どもたちに対して思う一番のことは、楽しい人生を送ってほしいということです。

子どもたちは、「こども四日市」や教室で行っている芸術活動を介して、まちとつながり、そこでいろいろな体験をします。その中で、試行錯誤しながら得たものが自信となって、その積み重ねが魅力となって、生きる力になる。それが、楽しい毎日につながればいいなと思います。

明るい未来になればいいと思うので、ささやかでも、そういった場ができればいいなと思っています。

有料広告掲載欄

## くわしん学資ローン

高校ご卒業後の進学(大学、専門学校、専修学校等)に関する費用のお手伝いをいたします。

平成25年10月1日(火)  
～平成26年3月31日(月)

＜子育て応援金利＞  
(当座貸越のみに適用)  
お子様(扶養家族)が2名以上いる方、または高校生以下のお子様がいる方は、適用金利から年▲0.2%でご利用いただけます。

在学期間中  
『当座貸越方式』  
(必要額だけご利用いただけます)

ご卒業後  
『証書貸付方式』  
(毎月返済)

下宿代・生活費もOK

### 桑名信用金庫

詳しくは、下記店舗窓口までお問い合わせ下さい。

四日市西支店 TEL 351-2577
生桑支店 TEL 332-8181
羽津支店 TEL 332-2233
大矢知支店 TEL 364-3311
川越支店 TEL 364-8811

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

## 四日市の 地区自慢

桜

# 「さくら桜輪ピック」で結ぶ地域の輪

## 鈴鹿山脈のお膝元 桜地区



智積養水

市内の西部に位置し、鈴鹿山脈を間近に望む地区内には矢合川が流れ、名水百選にも選ばれた「智積養水」や四日市スポーツランドなど名所やレジャースポットにも恵まれた、自然豊かな地域です。

昭和40年代以降、桜台や桜花台などの大型団地も開発され、さらに多くの住民が暮らしています。

## さくら桜輪ピック

市制100周年記念事業としてスタートした「さくら桜輪ピック」は地区住民の交流と親睦、健康の増進を図ることを目的に行われています。

同様の催しは従来からありましたので、特別目新しいものではありませんが、4年に一度の大会は、企画・運営全てを手づくりで行う、桜地区最大のイベントです。多くの住民が集うこの大会を心待ちにしている人も多いと聞いています。

今回も子どもから大人まで1,000人を越える人に参加してもらい、借り物競争や綱引きなど、11種類の競技が行われ、出場する選手はもちろん、応援にも熱が入り、大いに盛り上がりました。

また、昼食時には一斗五升の「しおはん」(鶏の炊き込みご飯)を数個のハソリ鍋(直径80cmもある大鍋)で作って食べる光景が見られるなど、にぎやかな中にものどかな雰囲気で行われ、最後は大興奮の町別対抗リレー決勝でプログラムを締めくくりました。

晴天に恵まれた  
第5回さくら桜輪ピック



玉入れには約400  
人もの方が参加し  
ました



多くの人が競技に参加しました



昼食時の様子



## 地域の交流と親睦

開会にあたり宣言された、「地域の人間関係をみずみずしい潤いのあるものにする」という大会宣言のとおり、今回の大会を通じて多くの住民が交流し、「私たちのまち桜」を実感できたのではないかと思います。

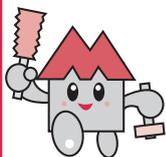
次回の「さくら桜輪ピック」は4年後となりますが、これからもさまざまな行事を通じて一人ひとりのつながりを大切にしながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。

### 問い合わせ先

桜地区市民センター内  
地域団体事務局  
(☎/FAX)326-2888

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



# 建労

随時加入者  
募集中

四日市支部

## 三建国保

出産育児一時金(42万円)  
葬祭費(本人10万円・家族7万円)  
高額療養費、施設利用補助、無料健康診断の開催  
人間ドックに対する補助(3万円)  
脳ドックに対する補助(2万円)など

組合独自の  
建設労働者の  
健康保険

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～ジュニアリーダー・サブリーダー養成講習会～

本市では、子ども会活動や地域活動に関心のある子どもたちを対象に、ジュニアリーダー（中学・高校生）・サブリーダー（小学生）を養成する講習会を開催しています。今年度も5月から11月まで全7回行われ、30人を超える受講生の応募がありました。

講習会は、受講生がキャンプやレ

「子どもの遊び場」「健康」「相談」などのお知らせや呼び掛けを、子育て世代に向けて発信するコーナーです。

クリエーションなどを体験することで、指導力を身に付けたり、コミュニケーション力を高めたりすることを目的としています。また、救命講習を受けたり、奉仕活動を行ったりすることで、社会に役立つ実践力も身に付けさせたいと考えています。

講習会は、平成25年に50周年を迎えた伝統のある活動です。今年度の講習会も、ジュニアリーダーとして各地で活躍している人が講師となり、リーダーとしてあるべき姿を今の受講生たちに示しました。

こうした先輩たちを目標にして、本市を元気にするようリーダーが育つよう、今後の講習会も、新しい

プログラムを取り入れるなど、今まで以上に充実させていきたいと考えていますので、来年度も多数の参加をお待ちしています。



講習会でのキャンプファイア体験

問い合わせ先

こども未来課青少年育成室  
☎354-8247 FAX354-8061



～近鉄内部・八王子線沿線の文化財を訪ねて～

内部線の終点、内部駅から西方へ1.3kmほど内部川沿いを遡っていくと、足見川が合流する手前に丘陵があります。麓からはわかりませんが、尾根を巧みに利用して土塁や空堀をこしらえた見事な山城が、丘陵全体に広がっています。登り口がある目印の石碑まで、駅からの所要時間は約20分です。

采女城に関する文献資料がほとんどなく、発掘調査も行われていないため詳細は不明ですが、一説によれば、

今回紹介するのは、内部地区にある中世の山城「采女城跡」です。

13世紀ごろに藤原氏の子孫である後藤氏が築いたといわれ、最後は、織田信長の北伊勢侵攻により落城したとされています。

この城跡には、空堀に区切られた9つの曲輪（平坦にして建物を建てたりするところ）があり、周囲を土



采女城跡の登り口にある石碑

塁でぐるりと囲まれた防御性の高い曲輪があるなど、非常にスケールの大きな山城で、当時の姿がほぼ残っており大変貴重です。

城跡は、現在、主要な部分が市民緑地となっており、地元の保存会により城の遺構を生かして整備されているため、冬に山の木々の葉が落ちると土塁や空堀の形が良くわかります。近鉄内部・八王子線に乗って内部駅で下車し、采女城跡まで足をのばしてみたいか。

問い合わせ先

社会教育課  
☎354-8240 FAX354-8308

有料広告掲載欄

お子さまの教育資金を「国の教育ローン」がサポート!

●「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

・ご融資額… お子さま1人につき300万円以内

・利率… 年2.35% (母子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は年1.95%)  
(平成25年11月11日現在)

お問い合わせ先 日本政策金融公庫四日市支店 ☎059-352-3122  
教育ローンコールセンター(0570-008656(ナビダイヤル))

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



第6回八郷フェスタ  
(11月10日 八郷地区)

「ふれあいは心のあくしゅ」をテーマに、八郷小学校体育館にて、人間スタンプラリー&ゲームが行われました。

子どもたちが企画した八郷地区クイズ・的当てビンゴ・ヨーヨーつりを子どもスタッフの運営で行ったり、握手をしてスタンプを集めたりして、大人も子どもも楽しめました。



秋の小径 もみじ祭り(11月23日 四郷地区)

八王子町の秋の小径で毎年恒例のもみじ祭りが開催されました。当日は晴天にも恵まれ、多くの人を訪れました。祭りの会場のひとつである西光寺では、地元の八王子産のサトイモとネギを使ったいも煮が振る舞われ、たくさんの方が秋の味覚に舌鼓を打っていました。

他にも、大声絶叫大会などのイベントが行われ、秋の休日を思い思いに過ごしていました。

私の好きな

四日市



市民の皆さんから市内のすてきな風景や、その風景をバックにしたお茶目なお子さんなどの写真を寄せていただくコーナーです。今回はどんな写真かな？

あなたの好きな四日市の写真を募集！

ご応募は、住所、名前(ふりがな)、電話番号、コメントとともに、メールか郵送、直接、〒510-8601 広報広聴課(市役所8階 ☎354-8244 FAX354-3974 ✉kouhoukouchou@city.yokkaichi.mie.jp)へ。選定の上、広報よっかいちで掲載します(ご応募いただいた作品は返却しません)。



▶▶桜町にお住まいの田村章さんからの投稿

桜町に架かる橋から見た景色。沈みゆく太陽の美しさに引かれて撮影したそうです。木の間から差し込む太陽の光が、穏やかな気持ちにさせてくれる1枚です。



▶▶大治田三丁目にお住まいの山本緑さんからの投稿

暗闇に浮かび上がる工場の光がとても幻想的で美しい写真です。「四日市市の夜の工場の光は、とても素敵です」と、とっておきの1枚を送っていただきました。

初心者でも大丈夫！使い方がわからなくても大丈夫！

有料広告掲載欄



CTYタブレットをご契約いただいた方  
(月額945円×24回)  
※CTYインターネットへのご加入が必要です。

訪問サポートサービス

先着50名様(希望者)2回プレゼント

初期設定と基本操作1回、  
訪問サポート1回、各1時間程度



☎0120-30-6500

【受付】月～土(日・祝日除く)  
(窓口)9:30～17:30 (電話)9:00～19:00 詳しくはお問い合わせください。

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

# 「みんな大好き・みんな大切 —子ども向け出前講座—」

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



人権センターには、人権について考える本やビデオ・DVDがあります。その中には、子どもたちが親しみやすいアニメーションで、いじめや家族の問題などを取り上げたもの、戦争の悲しさや命の大切さを気付かせてくれるもの、違いを認め合い、相手を思いやる気持ちを育てる作品などがあります。

これらは貸し出しもしていますが、子どもたちの成長に応じて、人権の大切さを伝えることが重要であることから、子どもたちが集まる場所に、人権センター職員が出向いて上映する出前講座も行っています。

## 【みんなで一緒に見ることで】

子どもたちは、驚いたり笑ったりしながら真剣に作品を見ています。それは、日頃から保育園、幼稚園、学校のほか、学童保育、地域やご家庭などでも、命の大切さや友だちと仲良くすることについて、伝えていただいているからです。さらに、みんなと一緒に見ることで、友だちの反応や感想を共有することができ、作品のメッセージがより印象深いものになるようです。

この子ども向け出前講座は、「みんな大好き・みんなたいせつ」といいます。「自分を、そして周囲の人のこま

とも大切にできるように育ってほしい。」そうしたメッセージと一緒に子どもたちに伝えていきましょう。



子ども向け出前講座の様子

**問い合わせ先**  
人権センター  
(☎354-8609 FAX354-8611)

## 表紙こぼれ話

今月は、潮吹き防波堤や稲葉翁記念公園がある旧港から撮影した「四日市港の日の出」です。

潮吹き防波堤は、1894（明治27）年の四日市港の改修時に、オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケの設計で造られたと言われています。波の力を弱めるために大小二重の防波堤があり、小堤を越えた波が大堤の水抜き穴から抜ける構造になっていて、波があたると、水抜き穴から海水を吹き出したので、潮吹き防波堤と呼ばれています。

1996（平成8）年、港湾施設として全国で初めて国の重要文化財に指定されました。

**■アクセスについて**  
三重交通バス「相生橋」下車  
徒歩5分

今年度の表紙のテーマは、「四日市の心に残る風景」です。四季折々に見ることができる四日市の美しい風景をご紹介します。

## ■おまけショット



稲葉翁記念公園には、潮吹き防波堤の仕組みが分かるレプリカがあります。ボタンを押すと、波が起きて、防波堤の穴から潮を吹き出し、波消しをする仕組みを確認できます。ぜひ試してみてください。

**■問い合わせ先**  
広報広聴課  
(☎354-8244 FAX354-3974)

下のQRコードを読み取って、四日市市オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね！  
今回は、「稲葉翁記念公園」を紹介するよ！



「まるごと四日市」のサイト

四日市市のゆるキャラ  
「こにゅうどうくん」

※「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます

**『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』でお困りではありませんか？**

**「安心してご相談ください！  
お一人お一人私が丁寧に  
対応します！」**

**借金**  
借金で困っています。会社やお店はどうすればいい？

**交通事故**  
保険会社の対応に納得できません。これからの交渉はどうすればいい？

**相続**  
遺産分割の話合いができません。

**離婚**  
調停や裁判の対応の仕方がわかりません。

近鉄四日市駅から徒歩1分！南改札口（東口）すぐ！

〒510-0804 四日市市浜田町5番27号  
第3加藤ビル5階（1階にJTBが入ったビル）

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆  
◆一般法律相談料（初回）30分 5,000円（税別）◆

**尾市法律事務所**  
弁護士 尾市淳二（三重弁護士会所属）

☎《予約制》059-350-2080

（財）日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

◆土日や夜間も対応可（要予約）◆

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,311人 [11月末日現在(前年比-705)] ■火災件数 7件 [11月分(前年比-5)] ■交通事故件数 1,037件 [11月分]